

環境マインドの高い 社会人の育成を目指して



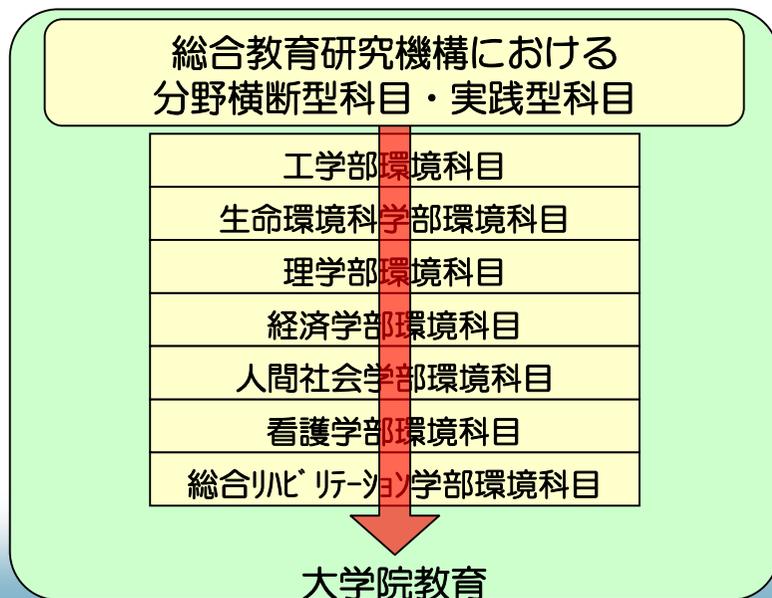
平成22年 5月13日

総務部 総合調整室

参与 北田 博昭

環境人材育成のための新しい教育プログラム

- ◆ 全学部生対象：副専攻「環境学」
- ◆ 全大学院生(博士前期課程)対象：
「国際環境活動プログラム」



☆環境活動を伴う実践型、
学部・院の一貫教育であることが
特徴です！



教育プログラムの内容①

- ・副専攻「**環境学**」 対象：**学部生**
 - ・講義科目：「**環境・生命・倫理**」(前期水Ⅱコマ)
「**環境学と社会科学への招待**」(後期水Ⅰコマ)
「**自然環境学概論**」(後期木Ⅴコマ)
 - ・演習科目：「**環境活動演習**」(集中講義・指定先行)を新たに開設
 - ・選択必修科目、環境関連科目を合わせて20単位以上習得で
副専攻終了証書を授与



就職にアピール!!!

「**環境・生命・倫理**」の履修生は**155名!**

教育プログラムの内容②

- 「**国際環境活動プログラム**」 対象：**大学院生**
 - 講義科目：「**国際環境学特論**」(前期木Ⅲコマ)
「**環境コミュニケーション特論**」(後期木Ⅲコマ)
 - 演習科目：「**国際環境活動特別演習**」(集中講義・先行指定)
を新たに開設
 - 6単位習得で**修了証書**を授与

「国際環境学特論」の履修生は
14名!



平成21年度の活動内容

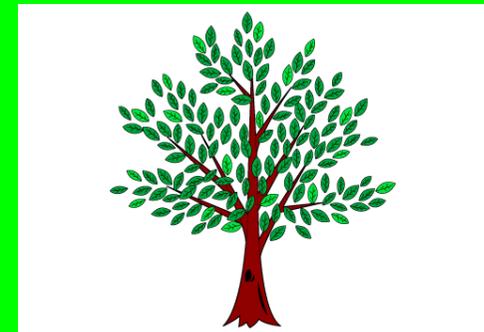
- ◆ 平成21年度は、22年度4月の開講に向けた準備期間として下記の取り組みを行った。

直接授業に関連するもの

- ☆教育プログラム全体計画の策定
- ☆シラバス・教材の作成
- ☆履修案内冊子、パンフレットの作成、配布
- ☆講義科目の授業計画の策定
- ☆外部・非常勤講師を含む担当教員の選任
- ☆学内調整等

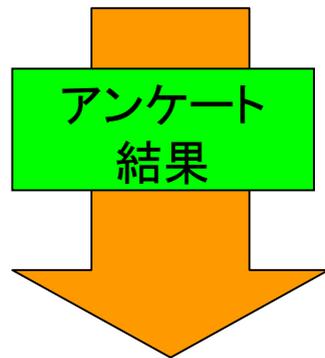
関連する業務、イベント

- ☆環境人材育成に係る独自ホームページの開設
- ☆開設記念シンポジウムの開催
- ☆同じような取り組みを進める他大学と情報交換、意見交換等



平成22年度の予定①

・講義の5科目(学部3科目、大学院2科目)について履修生にアンケートを実施
(事前アンケート・事後アンケート)



開発・実証委員会の意見

〈開発・実証委員会メンバー〉

総括責任者(理事長)

部局長連絡会議メンバー(プログラム開発・実証コア教員、
対外機関コーディネーター、大阪府・堺市・
地球環境センター・JICA・関西電力・シャープ関係職員)

事務局(21世紀科学研究機構室、総合調整室)

協力機関(コミュニティー、地元企業、NPO)

より良いプログラムに改良し、
平成23年度以降の授業に活かしていく！

平成22年度の予定②

- ◆「環境活動演習」「国際環境活動特別演習」については、平成23年度の開講に向けて準備
- ◆「国際環境活動特別演習」については、学生を**ベトナム・ハロン湾**へ派遣し、現地の大学や関連機関と連携した活動等も計画。



今後の展開

- ◆ 環境人材育成プログラムの今後の展開として、以下の5点がある。

☆「堺エコロジー大学」との連携

☆「環境資格」の検討

☆海外留学生の環境教育

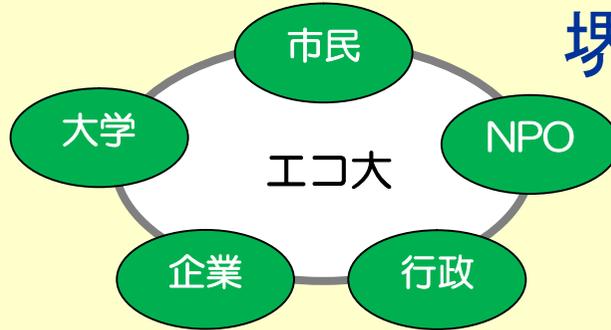
☆国際高度環境技術人材育成センターの設立

☆学問体系としての「環境学」の構築



堺エコロジー大学

堺エコロジー大学



Step 1【基礎】

Step 2【専門】

Step 3【実践】

一般コース

専門コース

活動展開

エネルギー等に関する体験学習等

大学・研究機関との連携による専門講座等

学校、企業等での講師・リーダー等としての実践

子どもから大人まで幅広い層の市民を対象に様々な講座を広く提供

各分野における専門コースによる環境人材育成

市民との協働による環境教育の展開

環境教育・啓発の充実

環境人材の輩出

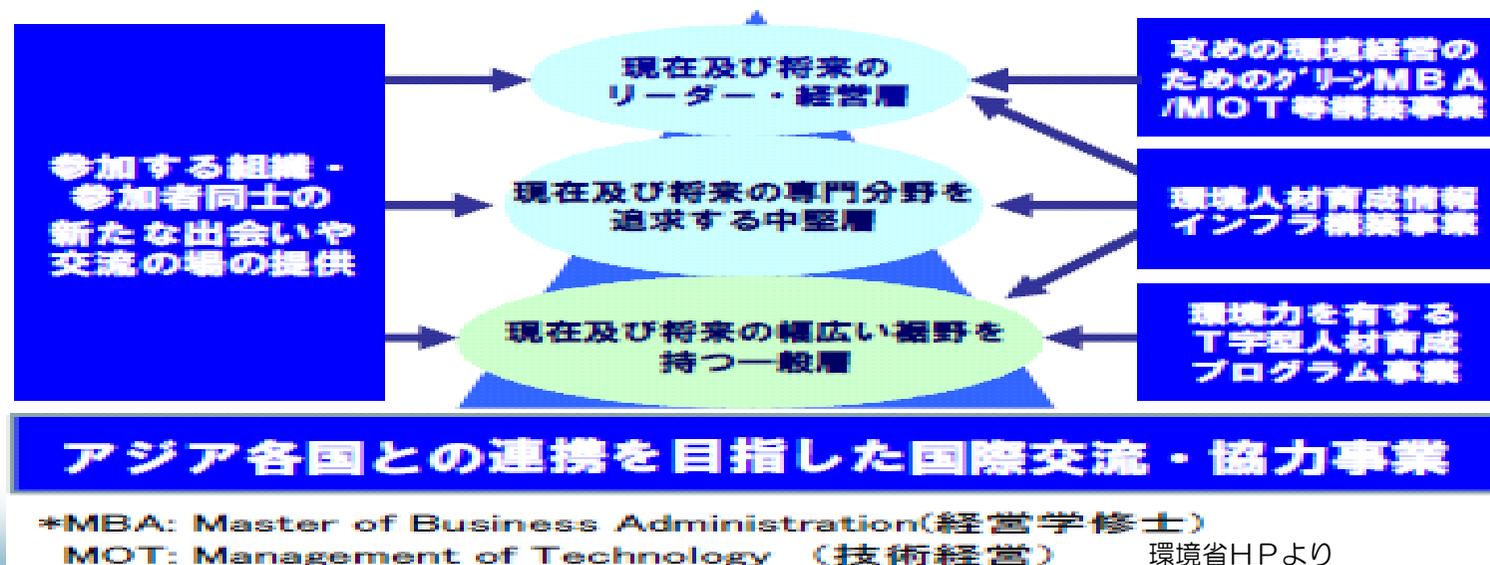
環境教育を率先する人材の活躍

低炭素都市「クールシティ・堺」を実現し、持続可能な社会の構築に向け、市民、NPO、企業、大学、行政が連携して、市民の環境意識の向上と環境共生のまちづくりを支える人材を育成する仕組みとして、「堺エコロジー大学」を設立。



環境資格の検討

- ◆ 特に大学院において、所定の科目を履修した学生に対する府立大学発の「環境資格」の付与、環境管理のための新しい学位の創設を検討。
- ◆ エコ・サイエンス研究所においては「環境管理士(仮称)」を検討。



海外留学生の環境教育

☆今回の新しい教育プログラム

府立大学の学生を海外でも役立つ環境人材に育てる



☆海外留学生の教育

アジアを中心に留学生を受け入れ、専門知識の豊富な環境人材として育成、資格の付与

帰国後、母国の環境対策を進めてほしい！！！！



国際高度環境技術人材育成センター

総括責任者
理事長（学長）

○プログラム開発・実証委員会
部局長連絡会議メンバー
プログラム開発・実証コア教員
対外機関コーディネーター
大阪府・堺市・地球環境センター・
JICA・関西電力・シャープ

事務局
21世紀科学研究機構室
総合調整室

**国際高度環境技術
人材育成センター
（仮称）**

まとめ

- ◆平成22年4月に新たに開設した科目は、学部、大学院とも順調に推移している。
- ◆環境に関する基礎的な知識は、企業や官公庁において、どのような部署でも、また、家庭生活の中でも役に立つ。

エコサイエンス研究所の想い

☆より多くの学生さんたちに副専攻やプログラムの修了証書を授与したい

☆履修生が社会に出て、日本中、世界中で活躍されることを期待する

